



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回定例議会	2～3
平成30年度一般会計特別会計予算	4～5
一般質問	6～9
Zoom up!	10～11
議会報告会・議会の動き・編集を終えて	12

平成30年

第**156**号

5月10日



校長先生もお別れ

平成30年 第1回定例議会

去る3月8日～15日、平成30年第1回定例議会が開催された。5件の補正予算、新年度予算6件、条例制定11件、その他すべて原案通り可決した。

総務費	基金積立金	1億円
	町有バスに要する経費	73万円
	地域おこし協力隊に要する経費	△214万円
	衆議院選挙に要する経費	△98万円
民生費	臨時福祉給付金に要する経費	68万円
	老人ホームに要する経費	△100万円
	障がい者自立支援事業に要する経費	1,170万円
	特別会計繰出金に要する経費	△295万円
	児童手当等支給に要する経費	△382万円
衛生費	特別会計繰出金に要する経費	△2,100万円
	乳幼児等医療費助成事業に要する経費	48万円
	合併処理浄化槽に要する経費	△390万円
	し尿処理に要する経費	△400万円
	根室北部廃棄物処理広域連合に要する経費	△400万円
農林水産業費	道営草地整備改良事業に要する経費	△46万円
	水産行政に要する経費	△50万円
	水産振興等に要する経費	△230万円
	漁港整備に要する経費	△1,424万円
教育費	義務教育振興会に要する経費	△70万円
	コンピュータリース料	△121万円
	中高一貫教育推進に要する経費	△160万円
	小学校の管理に要する経費	95万円
	中学校の管理に要する経費	100万円
	中学校の建設に要する経費	△6,374万円
	幼稚園の管理に要する経費	△54万円
	公民館管理運営等に要する経費	40万円
	給食センター管理運営に要する経費	89万円
公債費	町債元利償還金	1,150万円
	給与費	△463万円

補正額 **△537万円**

総額 **59億9,674万円**



国民健康保険事業特別会計補正予算

諸支出金	返還金	1,481万円
	繰出金	2,100万円
	給与費	50万円

補正額 **3,632万円**

総額 **10億4,589万円**

介護保険事業特別会計補正予算

地域支援事業費	包括支援センター運営に要する経費	△510万円
---------	------------------	--------

補正額 **△510万円**

総額 **4億9,713万円**

後期高齢者医療事業特別会計補正予算

後期高齢者医療広域連合納付金	28万円
----------------	------

補正額 **28万円**

総額 **6,683万円**



条例制定

- ・ 羅臼町課設置条例の一部を改正
- ・ 羅臼町個人情報保護条例の一部改正
- ・ 羅臼町有バス運行等に関する条例制定
- ・ 羅臼町国民健康保険条例の一部改正
- ・ 羅臼町介護保険条例の一部改正
- ・ 羅臼町介護保険法に基づく指定密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る条例の一部改正
- ・ 羅臼町介護保険法に基づく指定密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正
- ・ 羅臼町指定介護予防支援等に関する条例の一部改正
- ・ 羅臼町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介

護支援等の事業の人員等に関する基準等を定める条例制定

- ・ 羅臼町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- ・ 羅臼町立幼稚園設置条例の一部改正

工事請負契約

羅臼中学校解体工事
指名競争入札
契約金額
58,309,200円

契約の相手方

小野建設工業株式会社
代表取締役 小野 哲也

指定管理者の指定

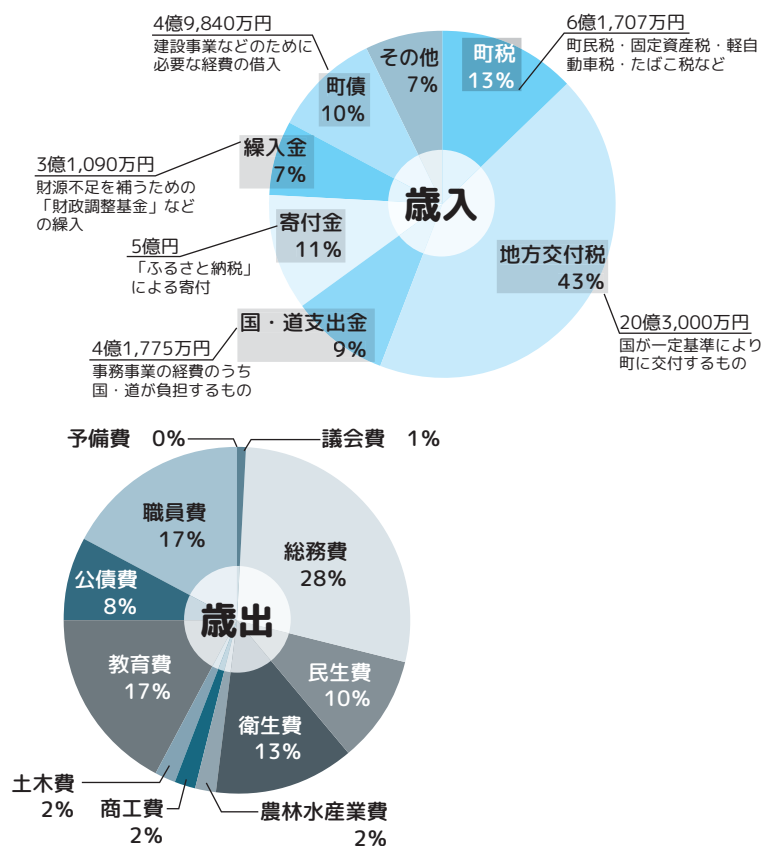
羅臼町老人福祉センター
指定管理者

特定非営利活動法人
ゆとりステーション
代表者

理事長 田中 良

平成30年度 一般会計歳入・歳出予算

総額 **47億7,393万円**
前年度比19.9%減



3月議会のあらまし

三月議会が三月八日から十五日までの八日間の審議期間で開かれた。

第一日目に、委員同意一件、補正予算五件を審議し、全議案を原案通り可決、引き続き町長・教育長行政執行方針が示された。

第二日目に、四議員が一般質問を行い、執行方針や町民からの要望や行政の課題を取り上げ町政をたじた。引き続き、理事者等から予算案の説明を受け、予算特別委員会を設置し、審議することにした。

第三日目に降に、予算特別委員会で各会計の予算について審査した。

最終日に、予算特別委員会の採択後、十二議案を原案通り可決した。

▶特別会計（歳入・歳出）

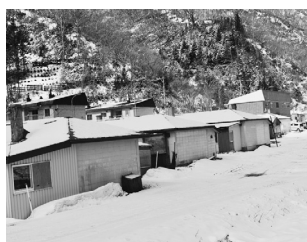
	本年度予定額	前 年 比
国民健康保険事業	11億704万円	17.7%増
介護保険事業	4 億4,902万円	4.2%減
後期高齢者医療事業	6,892万円	3.4%増
国民健康保険診療所事業	2 億639万円	9.4%増

▶水道事業会計（収入・支出）

	本年度収入予定額	本年度支出予定額	資金期末残高
水道事業会計	収益的収入・支出	1 億9,092万円	1 億9,092万円
	資本的収入・支出	6,238万円	1 億3,443万円
			1,083万円



ふるさと納税に要する経費
5億円
ふるさと納税の目標額を5億円とした



公営住宅等長寿命化計画委託料
3,440万円
老朽化した公営住宅の改築計画を作成するための委託



町内バス購入事業
2,294万円
通学区域の拡大に伴い町有バス2台を購入



庁舎電気設備改修工事
3,500万円

今年の主な事業

一般会計予算

歳入

47億7,393万円

①町税

6億1,707万円(△2.2%)

②地方交付税

20億3,000万円(0.8%)

③国・道支出金

4億1,775万円(△56.0%)

④寄付金

5億円(34.9%)

⑤繰入金

3億1,090万円(△23.4%)

⑥町債

4億9,840万円(△60.3%)

歳出

47億7,393万円

議会費

3,622万円(△2.0%)

総務費

13億5,616万円(21.0%)

◎移住体験促進事業費

280万円(△18.4%)

Q 移住体験で当町を訪れた人は何人か。その内何人が移住して来たのか。

A 26年から道費と町単独で実施してきたが、移住までは至っていない。

◎地域提案型事業費

400万円(0%)

Q 地域提案型事業で実施された内容は。

A いきいき地域提案型事業は4件。地域産業活性化事業は3件で250万円程となっている。

◎ふるさと納税事業

5億円(202%)

Q ふるさと納税については職員も大変であろうと思うので民営化の考えはないのか。

A 一時的に忙しい事務なので職員で対応できる。

◎選挙事務事業

142万円(△6.0%)

Q 選挙区の統合により投票に不便になったと思うが対策はあるのか。

A 前回の選挙では、投票所までの送迎を実施したが、利用者はいなかった。今後対策を考えていく。

民生費

4億7,528万円(△2.1%)

◎地域支え合い推進員事業 399万円(新規)

Q 地域支え合い推進員の仕事内容は。

A 庁舎内に配置して、町内で必要とするニーズ調査を実施して頂く。

衛生費

6億3,569万円(△5.9%)

◎生活習慣病、がん健診事業 831万円(△0.9%)

Q がん健診等の総合併数は伸びているのか。

A 受診率は横ばい傾向にある。当町は肺がんで亡くなる方が多い。啓発を積極的に進め、受診率を上げる工夫をしていく。

農林水産業費

7,027万円(△43.8%)

商工費

8,231万円(8.5%)

土木費

1億1,750万円(18.8%)

教育費

8億1,283万円(△61.5%)

◎読書振興事業

214万円(△0.2%)

Q 図書室の拡張は考えていないのか。

A 公共施設の全体の中で考えていきたい。

予算審議総括

本委員会は、三月九日の本会議において、議員全員による予算審査特別委員会として設置され、平成三十九年度一般会計予算ほか九件について、三月十二日及び十三日、十四日の三日間にわたって、慎重かつ熱心に審査が行われました。

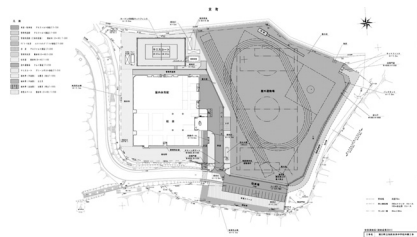
その結果、平成三十九年度目梨郡羅臼町一般会計予算及び各特別会計予算、企業会計予算並びに関連する条例につきまして、出席委員の全員一致により原案の通り可決、決定致しました。

ただし、知床らうす国保診療所の常勤医師二名体制を早急に確保され維持されるよう申し添えます。

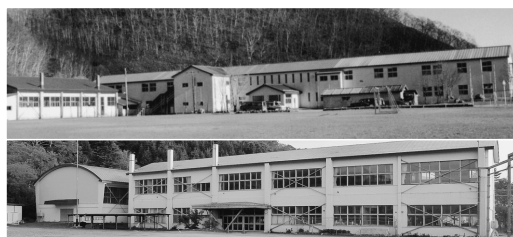
平成三十年三月十五日

予算審査特別委員会

委員長 坂本 志郎



知床未来中学校外構工事及び歩道改修工事 2億8,582万円
旧羅臼中学校の跡地にグラウンド等の外構工事と通学路の歩道改修工事を実施する



旧中学校解体工事 2億1,040万円
知床未来中学校の開校に伴う羅臼中学校・春松中学校の解体工事



放課後児童クラブに要する経費 942万円
放課後児童クラブの定員を25名に拡大する
申し込みは保健福祉課まで

行政の考えを問う

4人の議員による9件の質問が提出されました。

平成30年

第1回定例議会

一般質問

高島議員

産業振興について

町長 持続性の高い根付漁業などの取り組みに
対しても、漁協と連携しながら対応して
いきたい

高島 讓二議員



質問

我が町の基幹産業の漁業について、平成三十年度町長行政執行方針には「歴史上、類を見ない水準まで落ち込んでおり、水産業にほぼ一〇〇%依存している我が町にとっては危機的な状況である」と述べられております。

平成二十九年度羅臼漁協の会計決算は、平成十一年以来の赤字決算となりました。

一昨年、格差是正の問題で、漁協は減船のおり、四

十一隻の昆布漁業者もやめてしまい、補充策もないまま今に至っており、昆布漁の先行きにも懸念するところです。

好調である昆布の権利をやる気のある者に与える方法もあると考えます。

わが町の経済発展のために漁業、観光振興についての考えをお聞きます。

湊屋 町長

観光については、観光客の入込数は、世界自然遺産に登録された平成十七年と翌年は七十五万人と大きく増加したが、以降減少し、近年は五十万人台で推移している。

インバウンドはここ数年一、五〇〇人を超える宿泊数であり、冬のバードウォッチング人気が増加している



状況です。

観光客の増加、拡大に向けた具体策は、教育旅行誘致、ビジットジャパン地方連携による根室、釧路管内等の広域観光の取り組み、当町の情報発信の強化など近隣市町村や町内各団体と連携しながら進めていく。

また、基盤整備において

は、道の駅の一部リニューアルをする。また観光船の乗降場所として漁港を利用しているが、トイレ、待合所などの施設整備が出来るか開発局と協議し検討していく。



アクセスの問題は、根室内の二次交通対策は、重要な課題であり、解決に向けた検討をしていく。

環境保全協力金については、斜里町、環境省、林野庁など関係機関との協議が必要であり、現状ではそこまで至っていないと認識している。

しかし、世界自然遺産区域における釣り客の「入漁料」については、漁業資源の確保や環境保全を図る取り組みが出来るか、関係機関から意見等を聞いて参ります。

議員 加藤

根付漁業など「育てる漁業」への 具体的な取り組み方法は

町長 羅臼漁業協同組合と「育てる漁業」に取り組
み連携して進めていく

加藤 勉 議員

湊屋 町長



近年の漁業資源の極端な減少により漁船漁業者の経営は非常に厳しくなっている中で、羅臼漁業協同組合では根付漁業であるウニ、コンブ、ホタテなどの育てる漁業を進めています。

また、育てる漁業を推進するため、養殖漁業が利用できる区画海面調整も検討されています。

これら羅臼漁業協同組合が主導で進めている「育てる漁業」への取り組みに対して、情報を共有し、連携しながら町として出来る限りの対応をして参ります。

町長の行政執行方針から地域を支える産業の活性化として、根付漁業など「育てる漁業」に取り組んで行くのと有りますが、具体的な内容について伺い致します。道内にはアワビやナマコ等の養殖を手掛けている先進地例も有りますが、当町でもこの地域に適した魚種の研究を進めるべきと考えますが、町の方針をお伺い致します。



議員 加藤

特産品に対する付加価値対策に ついての考え方は

町長 関係機関、団体と早急に話し合いを始め
る

質問

特産品に対する付加価値対策として「オール羅臼で取り組む」と行政執行方針に有りますが、具体的内容について伺い致します。また加工技術の伝承に向けた、潜在的労働力の活用についての考え方を伺い致します。

湊屋 町長

基幹産業である漁業資源

が激減し、情勢は一段と厳しくなっています。特産品である「ウニ」や「コンブ」の一部は、近年「殻付きウニ」や「棒コンブ」として出荷され、特産品の型が変化してきています。背景には人手不足や労働力不足の問題もありますが、当町の特産品としての付加価値対策について、早急に関係団体と協議する検討会の設置を計画しており、漁

業文化として、どのような加工技術を活用し、どのように伝承するべきか、話し合いを進めていきたい。

加藤議員その他の質問

- ・外国人観光客の受け入れ対策について
- ・情報発信強化推進員の採用について
- ・中小企業振興資金融資制度について
- ・空店舗を利用した「一般食堂」の設置について
- ・障がい者に配慮した公共施設の公共施設のあり方について
- ・持続可能な羅臼町の未来を拓く人材の育成について



議員 坂本 平成三十年度の国保税（標準保険税）は、前年比較で引き上げか、引き下げか

町長 一人当たりの標準保険税額は、前年に比べ若干下がる見込み

議員 坂本 志郎



なるのかにあります。個々の保険税額は所得によって変化しますが、標準保険税額は前年比較で引き上げか、引き下げなのか現段階の試算について伺います。

質問

湊屋 町長

平成二十九年度八月三十一日現在、羅臼町の国保加入世帯数は、一、〇四九世帯二、四〇九人が国保加入者です。全世帯数の約半数五十%を占めています。

その意味では、国保の税額や新たに導入される様々な制度に約半数の町民が、直接関わる事になります。

平成三十年から国保の運営主体が北海道に移管する事になりますが、町民の最大の関心事は保険税が高く

議員 坂本 第7期（平成30年～32年）介護保険料は前期比較で引き上げか、引き下げか

基準額は第6期と同額の月額5,300円、所得段階別保険料についても同額で設定

議員 坂本

町長

質問

羅臼町の第一号被保険者（六十五歳以上の方）の介護保険料は、九段階に分かれており、第五段階の月額保険料五、三〇〇円が基準額です。（※別表）

今後は国保加入者それぞれが病気を予防し、また、早期発見、早期治療をすることで、医療費を増やさないよう個々の努力をお願いしたいと思います。

これをみると値上げが続く介護保険料ですが、第七

※第1号被保険者介護保険料所得段階

所得段階	対象者	保険料設定方法	保険料月額	保険料年額
第1段階	○生活保護受給者 ○住民税が世帯全員非課税で老齢福祉年金受給者 ○住民税が世帯全員非課税で合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の人	基準額×0.45	2,385円	28,600円
第2段階	○住民税が世帯全員非課税で合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以上120万円以下の人	基準額×0.75	3,975円	47,700円
第3段階	○住民税が世帯全員非課税で合計所得金額と課税年金収入の合計が120万円以上の人	基準額×0.75	3,975円	47,700円
第4段階	○世帯に住民税課税者があり、本人が住民税非課税かつ合計所得金額+課税年金収入が80万円以下の人	基準額×0.9	4,770円	57,200円
第5段階	○世帯に住民税課税者があり、本人が住民税非課税かつ合計所得金額+課税年金収入が80万円以上の人	基準額	5,300円	63,600円
第6段階	○本人が住民税課税者（合計所得金額が120万円未満の人）	基準額×1.2	6,360円	76,300円
第7段階	○本人が住民税課税者（合計所得金額が120万円以上200万円未満の人）	基準額×1.3	6,890円	82,600円
第8段階	○本人が住民税課税者（合計所得金額が200万円以上300万円未満の人）	基準額×1.5	7,950円	95,400円
第9段階	○本人が住民税課税者（合計所得金額が300万円以上の人）	基準額×1.7	9,010円	108,100円

議員 坂本 第一号被保険者（六十五歳以上）の介護認定者の現状と将来予測は

町長 平成三十年度二二一人、二〇二五年度は三九七人と推計している。

期向こう三年間の保険料は、六期の被保険者数、認定者引き上げになるのか引き下げとなるのか伺います。

議員 湊屋

第七期計画期間（平成三十年からの三年間）における第一号被保険者の介護保険料基準額については、第一期から同額の月額五、三〇〇円、所得段階保険料についても第六期と同様に設定しております。

議員 佐藤

なぜ急ぐ、幼稚園、小学校の 園一校化！

町長 今年度「幼稚園・小学校適正配置計画検討委員会」を立ち上げる！

佐藤 晶議員



質問

幼稚園の一園化、小学校の一校化は、平成二十八年度執行方針で初めて提示され、昨年、町長と議論し、特に保護者、地域住民への丁寧な説明や理解が重要であり、慎重に進めるべきと申したところでもあります。今回、町職員プロジェクトの提言を踏まえて作業を進めるとの事ですが、具体的なスケジュール等、又、町民への理解を求めることが重要と思うが、基本的な考え方を示して下さい。

湊屋 町長

近年、当町の出生者数は、四年連続で四十人未満であり、このことからしても、早期に適正な教育環境の在り方を検討し準備を進めなければならぬ。早い段階から一園一校の方向に舵をきり、消極的に捉えるのではなく、「安心して子どもを育てられる町」を目指し内外に強く印象付けていきたい。

施設規模の大きい羅臼地区の幼稚園、小学校を活用した場合、二つの施設で全人数を受け入れることができる、「住民と学校のつながり」に配慮しながら、地域協議を活性化させていきたい。

スケジュールについては、平成三十年度「羅臼町立幼稚園・小学校適正配置計画

検討委員会」を立ち上げる。諮問・地域説明・住民からの意見提案等、一連の対応に三年程度を要すると想定し、平成三十三年度を實現年度に設定したい。



議員 佐藤

羅臼漁業協同組合との人事交流 の成果は！

町長 管理職同士の「合同会議」が組織！

質問

組合との人事交流事業は、平成二十四年、協町政の時に始めた事業で六年間実施してきました。今年度は、実施をしないとの事であるが、そこに至った経緯、これまでの成果をどのように捉えているか。

湊屋 町長

行政と産業団体の職員が相互理解を深めるとともに双方の組織の活性化と人材の育成を図ることを目的として実施しました。これまでに双方から三名の職員を派遣し、六年間において「漁協管理職と役場管理職の合同会議」が組織、活力あるまちづくりに向けた積極的な議論が行われ、派遣研修で相互に交流できたことによる大きな成果である。

今年度は、一旦中断し、「合同会議」に重点を置き、「地域資源を活かした活力ある産業のまち」にするため、議論を深めてもらうこととしている。派遣研修はお互いの検証する期間とし、新たな展開を図ることとした。

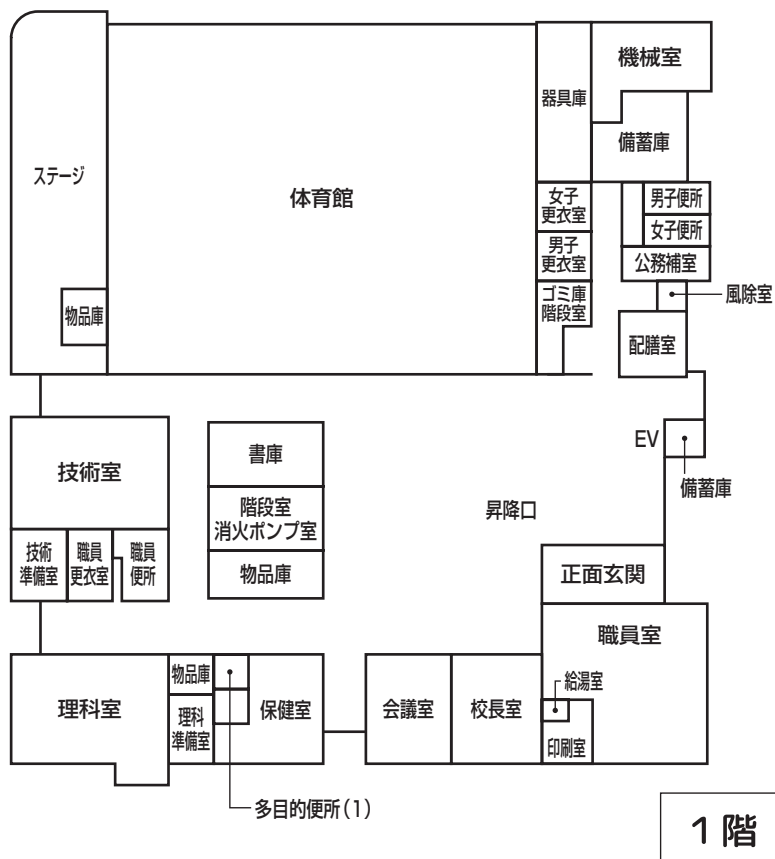
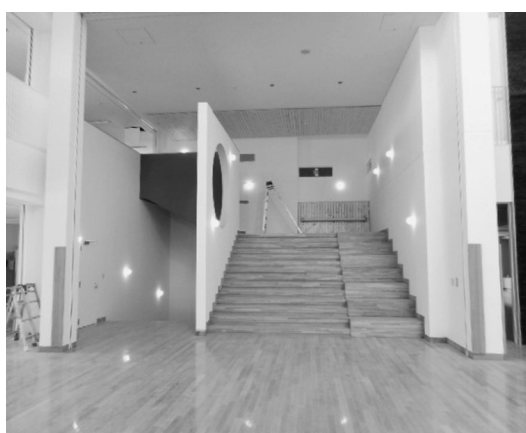


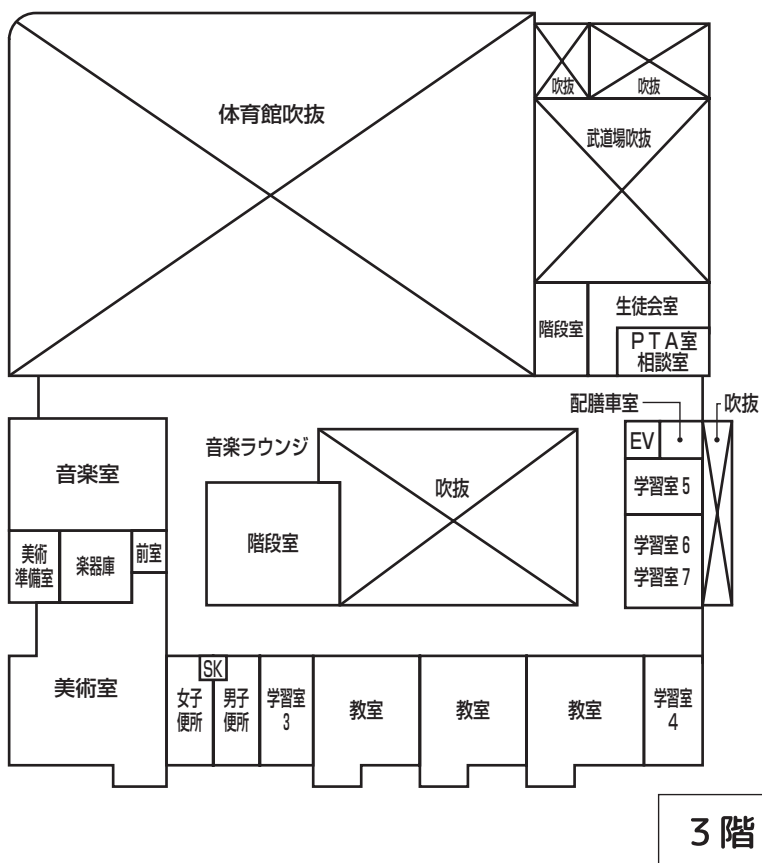
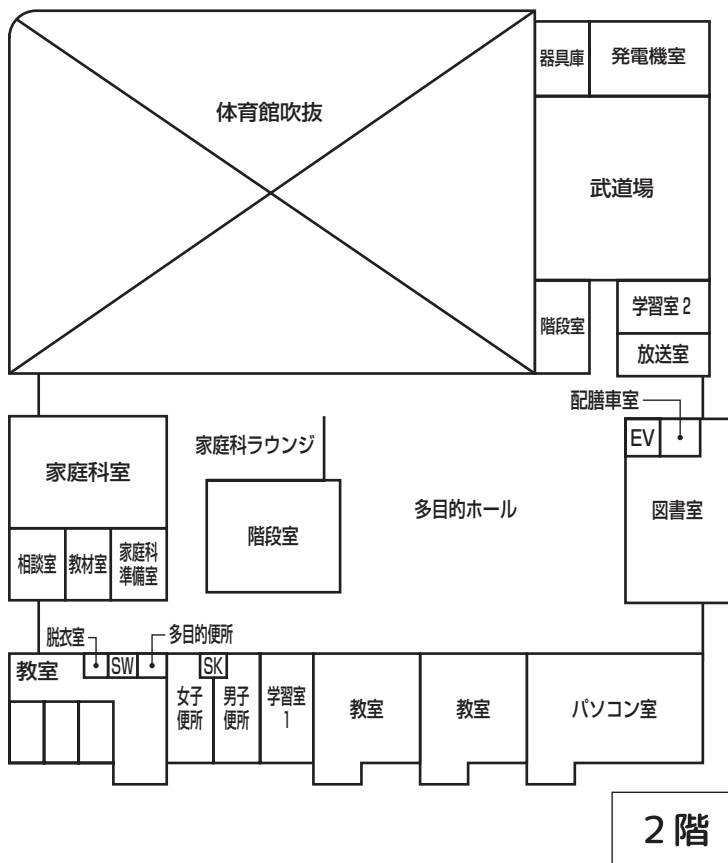


知床未来中学校行政視察

2月19日、総務民生・経済文教常任委員会合同で、知床未来中学校の視察を実施しました。

視察の内容を写真で紹介します。





議会の動き

2月

- 1日 議会運営委員会
- 7日 北方領土の日根室管内住民大会（根室市） 議長
- 8日 北海道議会水産林務委員会随時調査
議長・経済文教常任委員長
- 9日 平成30年羅臼救難所総会 議長
- 13日 根室地方総合開発期成会根室本線花咲線対策特別委員会（根室市） 議長
- 19日 経済文教・総務民生合同常任委員会
議会報告会 議長ほか
- 28日 全員協議会

3月

- 1日 羅臼高等学校卒業式 議長
議会運営委員会
- 2日 根室北部消防事務組協議会定例会 議長ほか
根室北部衛生事務組協議会定例会 議長ほか
根室北部廃棄物広域連合協議会定例会 議長ほか
- 5日 経済文教常任委員会
- 6日 総務民生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 平成30年第1回定例議会（1日目）
- 9日 平成30年第1回定例議会（2日目）
- 12～14日 予算審査特別委員会
- 15日 平成30年第1回定例議会（3日目）
- 25日 福井内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）来根に伴う要望・懇談会 議長
- 26日 議会だより編集特別委員会

4月

- 5日 議会だより編集特別委員会
- 9日 羅臼高等学校入学式 議長
- 10日 知床未来中学校開校式典 議長ほか
- 18日 平成30年度北方領土復帰期成同盟根室地方支部通常総会 議長
- 20日 根室町村議会議長会定期総会 議長・副議長
- 24日 議会だより編集特別委員会
- 27日 知床横断道路（国道334号）オープニングセレモニー 議長ほか

議会報告会

去る2月19日、峯浜町町内会の皆さん多数にお集まり頂き、議会報告会を開催致しました。冒頭、議長からロシアトロール船問題、安全操業船に対する頻繁な臨検などが語られました。

町内会の皆さんからは、町内の空屋対策や人口減少対策、学童保育の定数増、議員定数などについて、多くの発言があり、議員との活発な意見交換がなされました。



編集を
終えて

沖合に流水が見えてはい
ますが、路の臺が顔を出し
春の気配です。

先日「渡り漁夫」なる俳
句の季語を見かけました。

ニシン漁が始まる春先に、
網元に雇われて北海道に渡
る漁師の事、別名ヤン衆、
東北地方の漁夫や農夫で現
金収入が乏しかった地域の
人が特に多かった。

ニシンの漁獲高が激減し
てしまった現在、当時のニ
シン漁を偲ぶよすがは、季
語と各地に保存されている
鯨御殿のみです。後に、羅
臼開拓の礎となられた方も
多数おられます。

渡り漁夫いつも

ぐい呑みふところに

升本洋行

渡り漁夫酔へば

それぞれ国自慢

関口波香

（宮腰 記）

